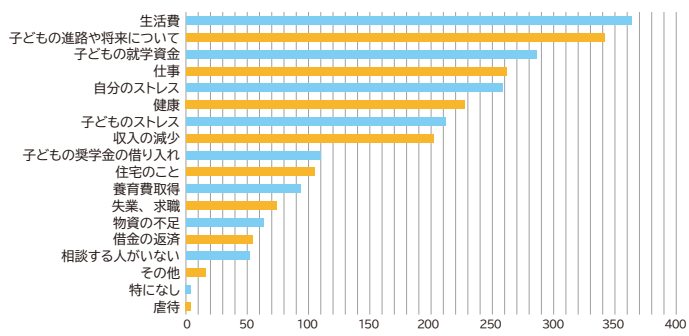
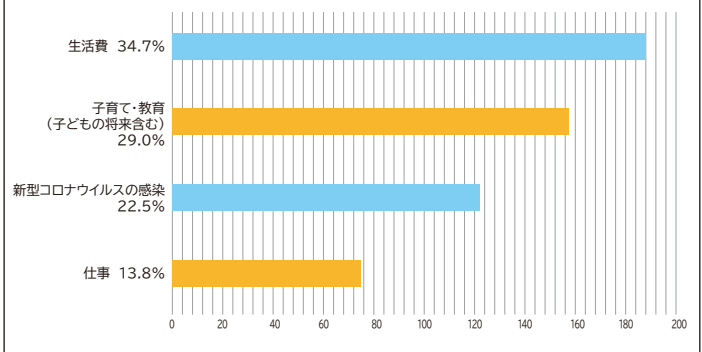


【今後の生活における困りごと・悩みごと】※複数回答



【コロナ禍での不安や悩み】



【自由記述より】

- ・コロナの影響で失業し世帯収入0円になりました。新しい仕事探しも50近いひとり親には厳しいです。
- ・長女が私立高校に入学するため金銭面で不安があります。
- ・上の子どもの大学進学を控え、教育資金が足りるのか心配で仕方がありません。資金不足のため、選択肢が狭まってしまわないだろうか心配です。
- ・今年の2月から生活保護を受給しております。コロナ禍もあり、勤務先も残業禁止で、収入も減ってしまいました。
- ・うつ病で休職、退職となり、少しずつ働き出していますがコロナの影響を受けて仕事が減り、生活がとても不安定になってしまいました。
- ・コロナにより全体の仕事量が減り、このまま雇用継続が続くか不安。
- ・個人のクリニックに勤務しています。コロナの影響でコロナ以外の患者数が激減し、給料が下がりボーナスもカットしている状況です。
- ・養育費調停をしたが、それでも養育費の振込がなく、生活が不安。
- ・主人が7年前に他界し、中一の娘が不登校になり、精神的に不安定になってばかりで、パート先でも学校に行ったか不安でミスをしてしまう毎日、つらいです。
- ・給食費が無料だが、コロナで休校にされると昼御飯代もかかるし、昼御飯を用意して仕事に行かないといけないから家事の負担が増えるので休校にならないか不安な日々です。
- ・入院、手術後で休職中です。収入が大幅に減り大変です。コロナに感染したら重症化のリスクもあるため不安です。
- ・今年はコロナ感染してしまい、とても辛かったです。今までシングルでやってきていろいろ本当に大変でした。まだ体調は戻っていませんが、また感染したら仕事も生活もどうなるかと思ったら不安です。感染予防しっかりしていきます。
- ・2か所の仕事で何とか生活しています。子供のためにも頑張る！
- ・コロナの影響で勤務先の業績が悪化し、2020年4月より休業体制が継続しており、収入も減少したままです。



あとがき

【コロナ禍で更に辛い思いをしているひとり親家庭アンケート結果報告】 (タイガーマスク「スマイルBOX」申し込みのひとり親に調査542世帯)

国の統計などに等しく、「契約社員や非常勤・パート・アルバイト」の非常勤雇用の割合は6割弱を占め、不安定な雇用形態のひとり親が多いことがわかります。

未曾有の災禍の中、第1回目のアンケート調査からも分かるように、経済が止まると真っ先に、不安定な雇用形態の者に影響が出たようで、「仕事が無くなった・仕事が減った」が5割を占め、「収入が無くなった・収入が減った」が6割を占めるという悲惨な状況となっていました。今回第4回目のアンケート調査では、長引くコロナ禍で、状況は改善されず、「仕事が無くなった・仕事が減った」が5割を占め、「収入が無くなった・収入が減った」が6割強を占めるという悲惨な状況となっています。

仕事が減ったり、収入が減ったりの世帯が多く占める中、出費が増えたが8割ありますので、コロナ禍で、困窮度が更に増しているひとり親家庭が多いことが読み取れます。

また、自由記述から考察するに、仕事のこと、子どものことや生活のことで辛い思いをしている方々が大変多いと推察されます。相談する人が身近にいない。等の自由記述もありますので、今後益々ひとり親家庭の相談窓口の機能強化に努めていきたいと考えております。

第7波の予兆が見え始めていますので、コロナ禍終息はまだまだほど遠く、収束にも時間がかかる状況にあると思われます。今後とも愛知県母子寡婦福祉連合会としましては、職員一同、感染対策に充分配慮して、学びの機会をなくさないように、就業支援講習会始めセミナー研修会を始め、養育費相談、法律相談、就業支援、就業相談等の各種相談や、「今後の困りごと」に対しても、アンケート結果を踏まえて、寄り添い型支援を強化していきたいと考えております。